



これまで経験したこと、 考えたこと

茂木 春樹

2010年博士前期課程修了(高柳研)

自己紹介(略歴)

- 2004年04月 基礎化学科入学
- 2007年04月 高柳研究室配属
- 2008年03月 学部卒業
- 2008年04月 博士前期課程進学
- 2010年03月 博士前期課程修了
- 2010年04月 みずほ情報総研株式会社入社
- 2012年05月 結婚
- 2013年09月 子どもが生まれ、父となる

学部4年から考えると、5年後には結婚し、
6年後には子どもがいる状況



自己紹介(私はこんな人)

- 特技 : 剣道四段、居合道二段、杖道三段
 - なぜか大学まで剣道部に所属(会社でも)
 - と言っても強い訳ではない…
 - 精神的には強くなったかもしれない
- 最近の悩み : 子育て
 - 平日はあまり接する時間がない(改善中)
 - 思った以上に大変(妻はもっと大変)
 - でも大変なのと同じくらい楽しい

本日の目次、目的

【目次】

1. 学生時代(何となく進路を考える)
2. 就職活動(ちょっと真剣に進路を考える)
3. 入社後(すごく真剣に進路を考える)

【目的】

- 私の経験や考えたことを紹介することで、進路を考える上での参考にしていただく
 - まとまった話にはなっておりません…
 - 文字が多いこと、ご容赦ください



1. 学生時代

○ B1～2

- 体力：部活60%、勉強20%、バイト20%
- 成績：あまりよくない
- 進路：何となく考えていた状況
 - 研究職or教員
 - 憧れと現実的な進路に相当
 - そもそも**具体的なイメージ**が湧かなかった
 - とりあえず安全策として教職課程も取る

B3のとき

- 卒研の研究室を選択する時期
- 高柳研究室を志望した理由
 - 実験への耐性とセンスがなかった (約5%)
 - 反応物理化学の授業で、研究のはなしを**楽しそう**にする先生の姿を見て (約95%)
 - その授業での一言も決め手
 - 「研究室選択は、**自分の上司を自分で選べる**生涯で唯一の機会だ」
 - 「研究は**仕事**と思ってやりなさい」



研究室仮配属

- 当時はオタクばかりの研究室
 - 「カタギの人が来た」と言われる
 - ここから様々な教育を受けることになる
 - 仮配の期間、ほぼ毎日顔を出す
- このとき与えられた仕事(?)
 - 「星間分子が関係する反応を片っ端から調べて、まとめてみてよ」
 - 論文、専門用語、まとめ方…
 - **調べて、まとめる**重要性を再認識



B4～M2

- **理論、計算化学分野で研究**
 - **最初はわからないことだらけ**
 - **計算のこと以前に、コンピューターも大して強い訳ではなかった**
- **研究テーマはいろいろ**
 - **貴ガスの分子、生体分子の損傷、etc…**
 - **実験との対比もした**
 - **実験への理解も必要**
- **大変だったけど、全然苦にはならなかった**



研究室で学んだこと①

技術的なこと

- プログラミング
- 計算機の管理(ネットワーク、OS、etc)
- プレゼンの仕方

仕事の遂行に必要なこと

- 予定や計画を立てる
- 調べて、実行し、まとめ、誰かに伝える
- 周囲とコミュニケーション(議論の仕方)

研究室で学んだこと②

自分自身のこと

- 現時点でのキャパシティ
- 性格を再認識
- 長所、短所が浮き彫りになる

☆研究室での活動を通じて…



社会に出て仕事をするための
基礎体力がつく



ちょっと休憩…



研究室での議論

- もちろん研究の話もしたが…
- 研究以外のことも議論した(結構本気)
 - 無知の知について
 - 人類にとって最良の教育方法とは
 - 好きなことを仕事にすること
 - 男女平等とはなにか
 - ストレッチの意味
 - 結婚、離婚の存在意義について
 - etc…



研究室での議論【抜粋】

- 好きなことを仕事にすること
 - 「好きなことでお金を貰えることは幸せなことだ」とよく言われる
 - 本当にそう？性格によるのでは？
 - 潜在するリスクを考えよう
 - 好きなことが嫌いになる可能性
 - 公私の境目が曖昧になる可能性
 - 必要以上に体力をかける可能性
 - etc…



2. 就職活動

- M1の12月から開始
- 当時はリーマンショックの直後で厳しいと言われていた
 - 厳しいと言われても実際にはどうなのか、実体験として比較ができないのでわからない
- 就職活動するにあたり、ちょっと真剣に考えた

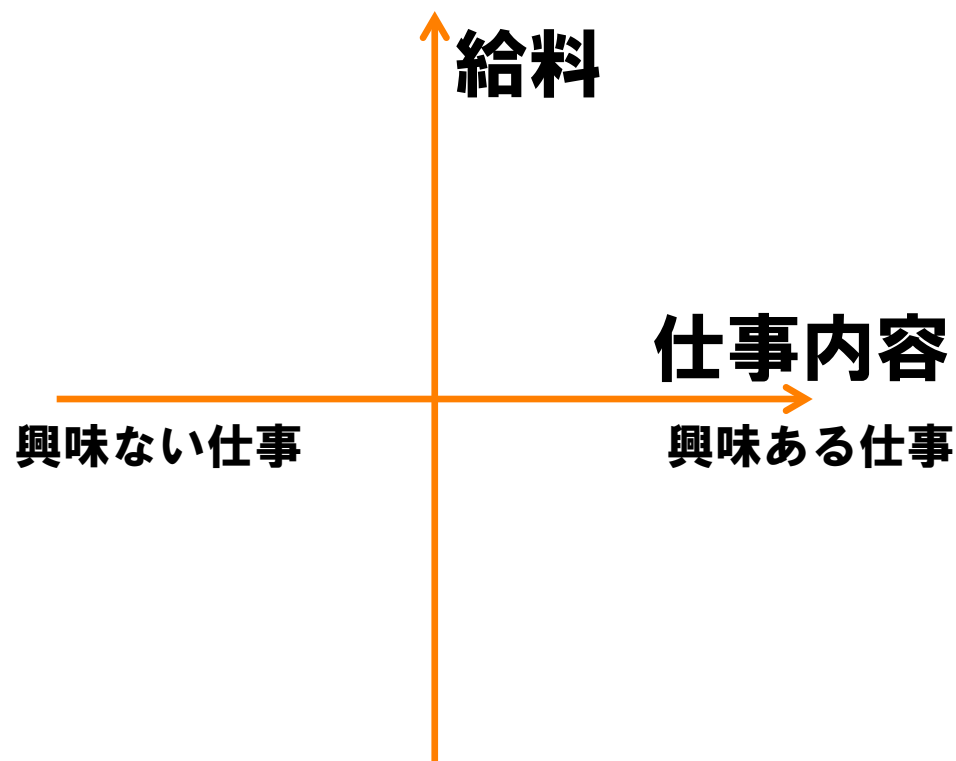


考えたこと①

- 自分は…
 - 何をしたいか？(シミュレーション、IT関連)
 - 何が大切か？(…)
 - この先どうなっていきたいか？(…)
- 特に下の2つについて、明確な“結論”を出すことは難しかった
- 大切なものに優先順位をつけられるか？
- 「がむしゃらに進んだら、結果的にこうなった」でもいい。でも良い機会だから考えてみた

考えたこと②

- 何が大切かを考えることは、意外と難しかった
 - 軸はたくさんある(仕事内容、給料、家族、趣味、余暇、etc)
 - 2軸で考えて、最適化した(PESと同じ)



考えたこと③

- **将来どうなりたいか、自分なりに考えた**
 - **体力あるうちは技術関連で働こう**
 - **そして、特定分野の専門家になろう**
 - **もし、技術者としてやる気がなくなったら、教育関連で商売しよう**



簡単にまとめ

- **就職活動は自分自身のこと、将来のことを具体的に考える良い機会だった**
- **考えて自分なりの“結論”を出しておくのと、ブレない軸ができて面接とかでも回答し易かった**



3. 入社後

- ちょっと休憩…
 - 会社について(別紙参照)



3. 入社後

- **仕事は…**
 - **科学技術計算を駆使して、お客様の課題を解決すること**
 - **開発、解析、技術コンサル、調査を行う**
 - **官公庁：民間＝6：4くらい**
- **入社1年目は数値流体力学に取り組む**
- **2年目以降、電池関連の仕事をメインに取り組む**



真剣に進路を考える

- 別に今の仕事を辞めたい訳ではない
 - 今の仕事は楽しくやっています
- 真剣に考える(考え直す)ようになったのは、結婚して子どもができたときから
 - 将来に部分的な具体性が出た
 - 定年は何歳で、そのとき子どもは何歳？
とか時間軸を具体的に定められるように



今後どうなりたいか【考え中】

- 電池関連分野で仕事していきたい
 - 興味をもったから
- 専門家として社内外から必要とされる存在になること
 - そのくらいにならないと食べていけない？
- 家庭も大切にしたい
 - 帰るべき場所だし、純粹に大切と思っている

具体的な戦略を考えなければ…

まとめ

- **学生時代から現在にかけて、自分の経験と考えたことをご紹介**
 - **考えたことの紹介が多かったか？**
- **自分自身も今後については考え中**
 - **具体的な戦略を立てる必要がある**
 - **個人的には「がむしゃらにやって、結果こうなった」でも良いとも思う**
 - **しかし、“今”しかできないこともあるので戦略が必要かも**

ご質問

